



国土交通省
中国地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

平成25年5月16日

資料提供先：島根県政記者会

お知らせ

平成25年度 直轄事業（島根県分）予算概要

【問い合わせ先】

国土交通省中国地方整備局

浜田河川国道事務所	(河川)副所長	<small>みちなか</small> 道中	0855-22-2480
	(道路)副所長	<small>わた</small> 和田	
出雲河川事務所	副所長	<small>さとう</small> 佐藤	0853-21-1850
松江国道事務所	(改築)副所長	<small>いしかわ</small> 石川	0852-26-2131
	(管理)副所長	<small>おおはら</small> 大原	
境港湾・空港整備事務所	副所長	<small>ささき</small> 佐々木	0859-42-3145

予 算 総 括 表

直轄事業(島根県分)

事業別	項目		平成24年度	平成25年度	対前年度比 H25/H24
河 川	斐伊川	一般河川改修事業	10,963	3,932	0.36
		河川工作物等応急対策事業費	28	121	4.32
	江の川	総合水系環境整備事業	689	592	0.86
		一般河川改修事業	748	1,366	1.83
高津川	河川工作物等応急対策事業費	0	0	-	
	一般河川改修事業	190	375	1.97	
	河川工作物等応急対策事業費	8	14	1.75	
小 計		12,626	6,400	0.51	
道 路	新 直 轄		6,900	110	0.02
		改 築	15,857	23,299	1.47
	交 通 安 全 事 業		2,439	1,833	0.75
		電 線 共 同 溝	350	170	0.49
小 計		25,546	25,412	0.99	
港 湾	浜田港	1,000	1,000	1.00	
合 計		39,172	32,812	0.84	

※上記予算の他に、地方整備局一括配分として、河川維持修繕費、堰堤維持費、交通安全施設等整備事業費(Ⅱ種)、道路維持管理費等がある。
 ※一般河川改修事業には、大規模、東日本大震災の教訓を踏まえた「全国防災」の河川津波対策等に係る予算を含む。
 ※上記には道路調査費、付帯工事費、受託工事費を除く。
 ※上記予算の出雲河川事務所分については、島根県・鳥取県分を含む。

河川関係事業

1. 予算額

【金額単位:百万円】

	事業費	平成24年 (当初)	平成25年	伸率 (H25/H24)
斐伊川	一般河川改修事業費	10,963	3,932	0.36
	河川工物等応急対策事業費	28	121	4.32
	総合水系環境整備事業費	689	592	0.86
	小計	11,680	4,645	0.40
江の川	一般河川改修事業費	748	1,366	1.83
	河川工物等応急対策事業費	0	0	-
	総合水系環境整備事業費	0	0	-
	小計	748	1,366	1.83
高津川	一般河川改修事業費	190	375	1.97
	河川工物等応急対策事業費	8	14	1.75
	総合水系環境整備事業費	0	0	-
	小計	198	389	1.96
台	計	12,626	6,400	0.51

※上記予算の他に、地方整備局一括配分として、河川維持修繕費、堰堤維持費等がある。
 ※一般河川改修事業には、大規模、東日本大震災の教訓を踏まえた「全国防災」の河川津波対策等に係る予算を含む。
 ※上記予算の出雲河川事務所分については、島根県・鳥取県分を含む。

事業の概要

① 河川事業【斐伊川】

【斐伊川一般河川改修事業】

- 大橋川改修は、堤防整備・天神川水門新設、用地補償等を実施します。
(資料-1)
- 中海湖岸堤整備は、松江市本庄町野原地先(中海)の湖岸堤整備を実施します。
(資料-2)
- 斐伊川本川では、堤防の高さや断面が著しく不足している船津地区において、築堤に着手します。

【斐伊川総合水系環境整備事業】

- 中海及び宍道湖の水環境の改善を目指し、浅場造成及び覆砂等を実施します。
(資料-3)

【河川工作物関連応急対策事業費】

- 中海周辺において、河川管理施設の樋門の改善を行います。

※上記の他、既存施設の機能が持続的に発揮できるよう補修、更新を実施し、戦略的な維持管理を行います。

ひいかわ
斐伊川一般河川改修事業
おちしがわ
(大橋川地区)

資料-1

事業費 3, 932百万円
※斐伊川水系全体

事業推進

【事業概要】

大橋川は「水の都松江」を象徴する風情ある水辺景観を醸し出す川である反面、沿川は堤防が未整備であるとともに、上下流の2箇所^{①②}に狭窄部を抱えるため、戦後最大の浸水被害が発生した昭和47年7月豪雨をはじめ、平成18年7月豪雨により、山陰地方の中心都市である県都松江の中心市街地が浸水するなど、甚大な被害が発生しました。

大橋川改修は、斐伊川治水計画（①上流部のダム建設、②中流部の放水路建設と本川改修、③下流部の大橋川改修と中海・宍道湖の湖岸堤整備）の一つで、平成23年8月に大橋川中流^③追子地区の堤防整備工事に着手しました。

平成25年度は、引き続き堤防整備・天神川上流の水門新設、用地補償等を実施します。



(仮称)天神川上流水門 完成イメージ



天神川上流の水門新設工事進捗状況



追子地区の堤防整備工事進捗状況



H18.7浸水状況: 東本町(松江市)



期待される整備効果

河川整備計画の治水目標である、戦後最大の被害をもたらした昭和47年7月洪水が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

ひ い かわ
斐伊川一般河川改修事業
 の ぼら
(野原地区)

資料-2

事業費 3, 932 百万円
 ※斐伊川水系全体

完成予定

【事業概要】

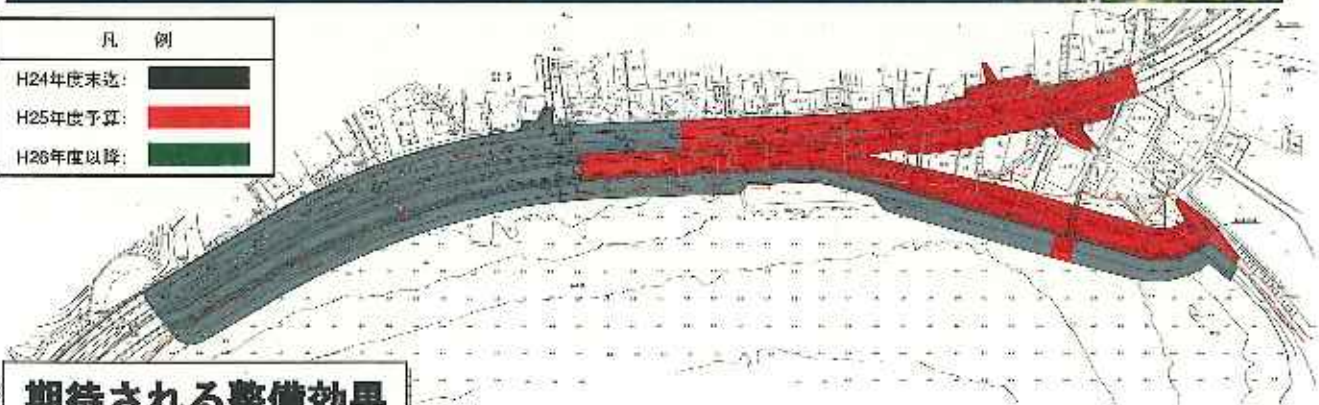
当該地区は、宅地の地盤高が低く湖岸堤が未整備で、近年高潮による浸水被害（H14、H15、H16）を頻繁に受け、河川整備計画においても短期整備箇所として位置づけられており、早期の湖岸堤整備が必要です。

このため、高潮による浸水被害の防止を図るための湖岸堤の整備を実施しています。

平成25年度は、引き続き道路改良事業との合併により、湖岸堤の整備を実施し、事業の完成を目指します。



凡 例	
H24年度末迄:	
H25年度予算:	
H26年度以降:	



期待される整備効果

河川整備計画の治水目標である、平成15年9月高潮（既往最高水位）が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

ひ い かわ
斐伊川総合水系環境整備事業
 (中海・宍道湖)

資料-3

事業費 592百万円
 ※斐伊川水系全体

事業推進

【事業概要】

中海・宍道湖では、水質観測が始まった昭和48年頃から、環境基準値を満足していない状態が続いており、赤潮・アオコといった富栄養化現象が継続的に発生しています。また、湖周辺地域の開発等による流入負荷の増加に加え、浅場・藻場が減少し、湖の自然浄化機能が低下しています。

そこで、沿岸域に浅場を整備するとともに、中海の底質が悪い箇所には覆砂も実施して、生物の生息環境を改善することにより、湖の自然浄化機能を向上させ、水質浄化を図ります。

平成25年度は、引き続き、中海においては浅場造成及び覆砂、宍道湖においては浅場造成を実施します。



宍道湖や中海の殆どが人工湖岸です。
 (事例:宍道湖のコンクリート護岸)

藻場の再生
 (中海整備箇所)

整備箇所の浅場では魚介類の増加が見られる
 (中海整備箇所)

期待される整備効果

浅場造成・覆砂により、ヨシ帯や藻場など湖岸域の浅場環境が再生し、自然が本来もつ浄化機能を回復して水質浄化を図ります。

アオコや赤潮の発生抑制によって湖岸の景観も向上するほか、地域の人々等の憩いの場としての機能が向上します。

河川事業【江の川】

【河川改修費】

- 江の川河川改修事業では、江津市大畷地先において築堤及び樋門等を推進し、美郷町都賀西地先においては、堤防工事及び用地補償を推進する予定です。また、江津市八神地先において平成25年度より事業着手し、工事に先立ち必要となる詳細設計を行います。
- 「土地利Ⓐ用一体型水防事業」では、江津市川平地先において築堤等及び用地補償を推進する予定です。

【河川維持修繕費】

- 直轄管理区間(延長:左岸91.3km、右岸:79.3km)について、主として堤防除草、護岸補修、樋門操作、河川内樹木伐採、河川巡視等を行います。



八神地先

江津市

八神地先は、江の川下流に位置する無堤部であり、過去浸水被害を受けています。平成25年度により事業着手し、工事你先立ち必要となる詳細設計等を実施します。





大貫地先

江津市

大貫地先は無堤部であり、過去たびたび浸水被害を受けています。平成25年度は、引き続き築堤及び樋門を推進する予定です。





都賀西地先

美郷町

堤防断面が不足していると共に、堤防詳細点検の結果、安全率を満足していない箇所です。
平成25年度は、引き続き堤防工事及び用地補償を推進する予定です。





土地利⽤一体型水防⽼業

江津市

江の川は中国山地を横断して日本海に注ぐという河川特性から、山間狭あい部を流下しています。このため、河川と急峻な山に挟まれた狭い地区に人家が点在しています。

このよ⽁な地域を度重なる水害から防制するため、通常の築堤方式とすると、住環境の悪化や貴重な田畑の減少等の弊害が発生します。これを解消するため、住⽁基盤を洪水位までかさ上げを行うことにより、治水安全度を確保しつつ、狭い土地の有効利⽤を図る「土地利⽤一体型水防⽼業」により、河川改修を推進しています。

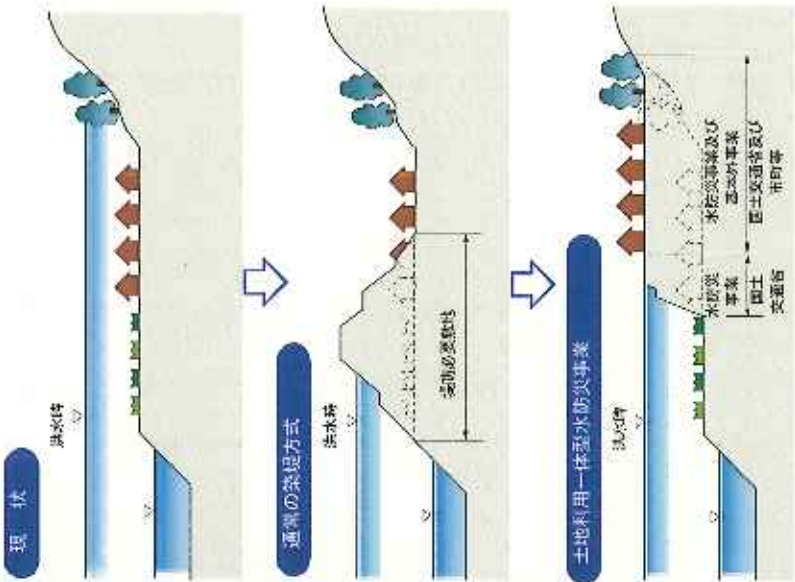
平成25年度は、川平地先において築堤及び用地補償等を推進する予定です。



事例 島根県邑智郡美郷町吾郷地先



■ 土地利⽤一体型水防⽼業イメージ図



平成25年度浜田河川国道事務所の主要事業箇所(河川:高津川)

河川事業【高津川】

【河川改修費】

○高津川河川改修事業では、益田市大塚地先において築堤等及び用地補償を推進する予定です。

【河川維持修繕費】

○直轄管理区間(延長20.0km)について、主として堤防除草、護岸補修、樋門操作、河川内樹木伐採、河川巡視等を行います。

【河川工作物関連応急対策事業費】

○大麻排水樋門補修を実施します。



大塚地先

益田市

大塚地先は高津川の河口部に位置する無堤箇所であり、過去浸水被害を受けています。平成25年度は、築堤等及び用地補償を推進する予定です。



道 路 関 係 事 業

平成25年度の道路事業費(島根県)

[単位:百万円]

事業費	平成24年度 (当初)	平成25年度 (当初)	対前年度比 H25/H24
新直轄	6,900	110	0.02
改築	15,857	23,299	1.47
交通安全事業	2,439	1,833	0.75
電線共同溝	350	170	0.49
合計	25,546	25,412	0.99

※上記予算の他に、地方整備局一括配分として、交通安全施設等整備事業費(Ⅱ種)、道路維持管理費がある。
 ※上記には道路調査費、付帯工事費、受託工事費を除く。

【松江国道事務所事業】

平成25年度 松江国道事務所事業箇所一覽

箇所	事業名	延長	供用(完成)・新規・事業推進	主要内容	資料番号	備考
①	中国横断自動車道 尾道松江線 (三次～三刀屋木次)	L=61.0km	供用済み	環状調査、補修調査、用地指償	—	
②	一般国道9号 出雲・瀬田道路	L=4.4km	事業推進	用地買収、埋蔵文化財調査、改良、橋梁	資料-1	
③	一般国道9号 湖陵・多伎道路	L=4.5km	事業推進	調査・設計	資料-2	
④	一般国道9号 多伎・朝山道路	L=8.0km	事業推進	改良、橋梁、トンネル	資料-3	
⑤	一般国道9号 野山・大田道路	L=6.3km	事業推進	埋蔵文化財調査、改良、橋梁	資料-4	
⑥	一般国道9号 大田・精所道路	L=5.0km	事業推進	調査・設計	資料-5	
⑦	一般国道9号 精所・仁座道路	L=7.9km	事業推進	埋蔵文化財調査、改良	資料-6	
⑧	一般国道9号 仁座・温泉津道路	L=11.8km	部分完成	改良、橋梁、トンネル、舗装	資料-7	
⑨	一般国道54号 三刀屋拉幅	L=4.1km	事業推進	改良、橋梁	資料-8	
⑩	鳥根9号交差点改良等	N=7箇所	新規事業・事業推進・完成	調査設計、用地買収、工事	資料-9	
⑪	鳥根54号交差点改良等	N=2箇所	新規事業・事業推進	調査設計、用地買収、工事	資料-9	
⑫	鳥根9号電線共同溝	N=2箇所	新規事業・完成	電線掘地中化	資料-9	

いずも こりょう 出雲・湖陵道路

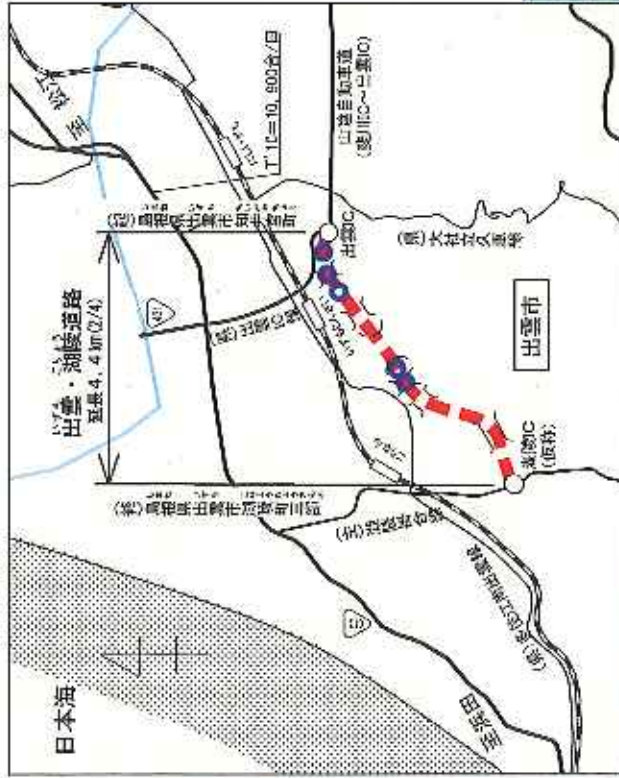
事業推進 資料一1

H25:1, 300百万円

事業概要

一般国道9号の現道部では、通過車両と生活車両が混在し、県中西部方面から出雲市中心部への流入付近で交通混雑が発生しており、交通事故も多発しています。
 交通事故・渋滞の発生により地域の経済活動に多大な支障をきたし、早期の整備が求められています。
 出雲・湖陵道路は、この様な課題を解決するために計画された道路で、島根県出雲市知井宮町から出雲市湖陵町三部に至る延長4.4kmの自動車専用道路で、平成20年度に事業着手しています。
 平成25年度は、早期供用に向け、用地買収を推進するとともに、埋蔵文化財調査、改良工事、橋梁下部工事に着手します。

事業箇所図



凡例
 ○ :平成25年度工事予定箇所

状況写真



大型車同士の衝突事故
 (H16. 6発生 出雲市大島町地内)



事故に伴う渋滞



一般国道9号 多伎・朝山道路

事業推進 資料-3

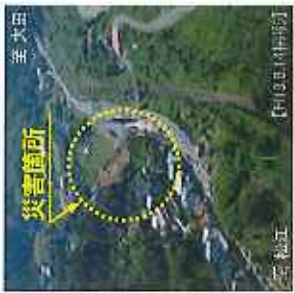
H25:4, 800百万円

一般国道9号の出雲市と大田市境の「仙山峠」付近は、急カーブが連続し交通事故の多発する島根県内でも有数の交通の難所となっています。また、平成18年7月豪雨災害では、国道9号が全面通行止めとなる等、災害が頻発する区間ともなっています。

多伎・朝山道路は、このような課題を解決するため計画された道路で、島根県出雲市多伎町久村から大田市朝山町朝倉に至る延長9.0kmの自動車専用道路として平成18年度に事業化し、平成20年度には、調査設計を推進し、用地買収に着手しました。平成25年度は、早期供用に向け、改良工事、橋梁下部工事、橋梁上部工事、橋梁上部工事を推進するとともに、トンネル工事に着手します。

事業概要

事業箇所図



平成18年7月豪雨災害により国道9号に35時間の全面通行止め（片側交互通行79日間）

状況写真



おおだ しずま 大田・静岡道路

事業推進 資料-5

H25:401百万円

事業概要

一般国道9号は東西を結ぶ唯一の幹線道路であり、近隣に代替路となる幹線道路が無く通行止め時は大幅な迂回が必要で、また通行止め時は、日常の生活及び経済活動として必要な交通機能が損なわれ、また緊急輸送道路が未確保の状況となっています。

一般国道9号大田・静岡道路は、緊急輸送道路の確保及び第3次医療施設への速達性の向上等を目的とした鳥根県大田市久手町刺鹿から大田市静岡町に至る延長5.0kmの自動車専用道路で、平成24年度に事業着手しています。平成25年度は、早期工事着手に向け、環境調査、地質調査、道路予備設計及び橋梁予備設計を推進します。

事業箇所図



状況写真



トレーラーと普通車の正面衝突事故
(H21.12発生 大田市朝山町)



事故に伴う渋滞



一般国道9号 静間・仁摩道路

事業推進 資料-6

H25:1,500百万円

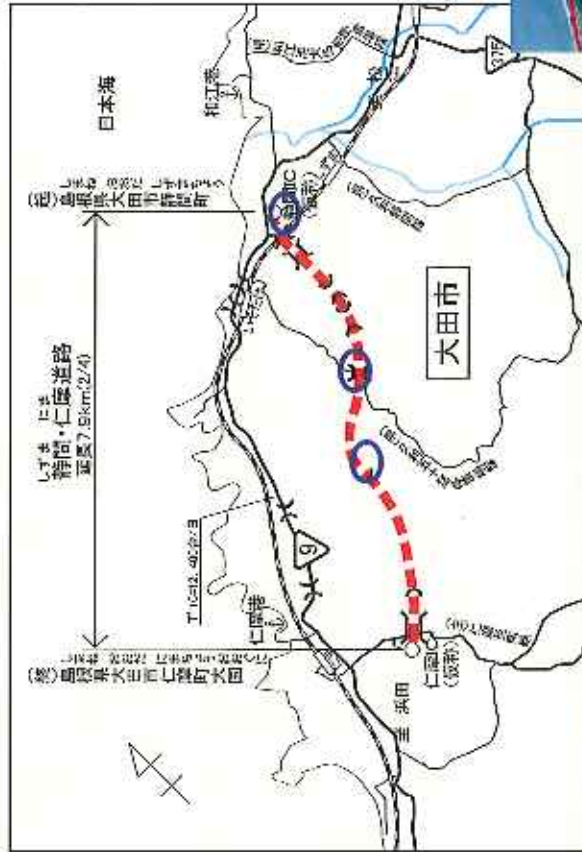
事業概要

一般国道9号の現道部は、急カーブや急勾配が連続する区間が多く、死亡事故につながる重大事故が発生しやすい状況にあります。また、国際規格コンテナ通行支障トンネルや、事故や災害時には通行止めが発生し、大幅な迂回が必要となるなど、早期の整備が求められています。

静間・仁摩道路は、この様な課題を解決するために計画された道路で、鳥根県大田市静間町から大田市仁摩町大園に至る延長7.9kmの自動車専用道路で、平成20年度に事業着手しています。

平成25年度は、早期供用に向け、埋蔵文化財調査、改良工事に着手します。

事業箇所図



状況写真



大型車の事故で約2時間全面通行止め
(H16.6発生 大田市静間町)



建築限界が不足するトンネル
(H19.5 宅野トンネル)



凡例
○:平成25年度工事予定箇所

一般国道9号 仁摩・温泉津道路

部分完成 資料一7

H25:7, 008百万円

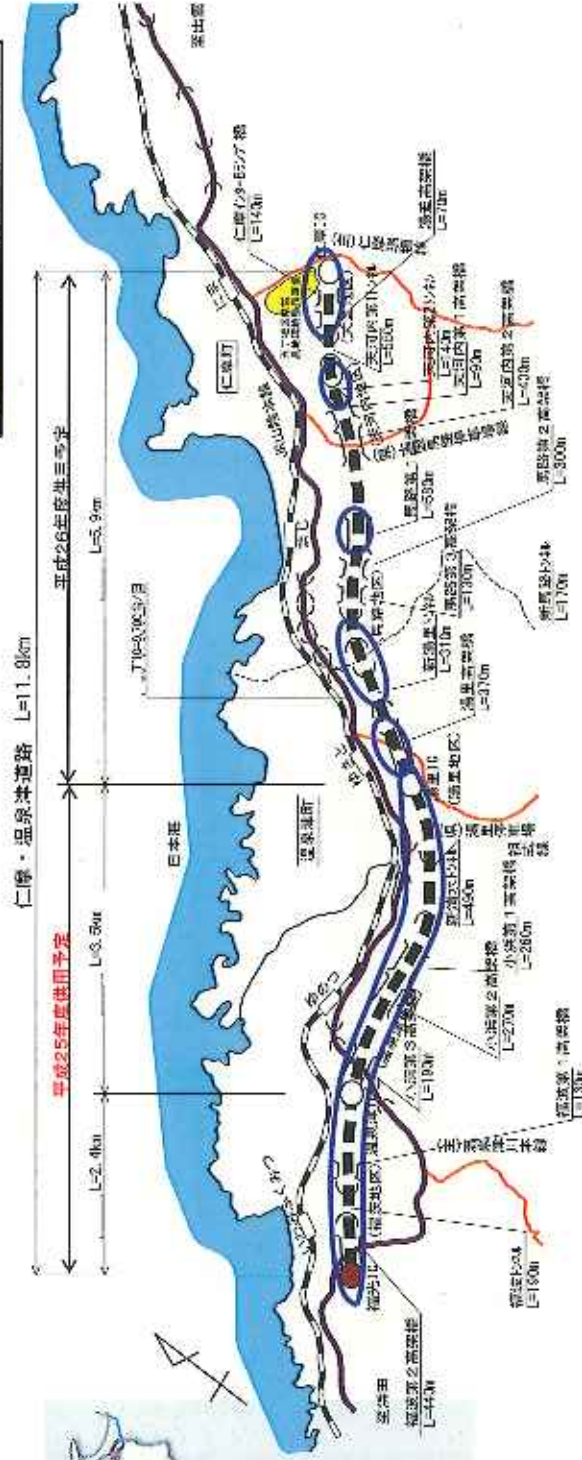
事業概要

仁摩・温泉津道路は、大田市内の交通隘路区間の解消及び交通安全の確保を目的とした、島根県大田市仁摩町大田から大田市温泉津町今浦に至る延長11.8kmの道路で、平成16年度に事業着手しています。
平成25年度は、湯里IC(仮称)～福光IC(仮称)間の部分供用(暫定)及び平成26年度の全線供用(暫定)に向け、改良、橋梁上部、トンネル、舗装、トンネル設備工事を推進します。

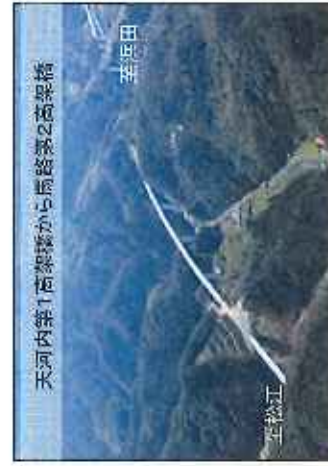
事業箇所図



凡 例
○ : 平成25年度工事予定箇所



状況写真



【浜田河川国道事務所事業】

■ 浜田河川国道事務所 事業箇所

番号	事業名	延長	供用(完成)・新規・事業推進	主な内容	資料番号
①	一般国道9号 浜田・三隅道路	L=14.5km	事業推進	用地買収、橋梁工事等	付属資料一道路1
②	一般国道9号 三隅・益田道路	L=15.2km	事業推進	測量、地質、設計等	付属資料一道路2
③	島根9号交差点改良等	N=7箇所	新規事業・事業推進・完成	調査設計、用地買収、工事	付属資料一道路3

一般国道9号(山陰自動車道) 三隅・益田道路

事業推進 付属資料—道路2

H25: 700百万円

事業概要

一般国道9号は島根県の東西を連絡する唯一の幹線道路ですが、当該地区の浜田市三隅町～益田市遠田町間には、急勾配・カーブの連続する隘路区間や多くの防災対策必要箇所が存在しており、地域の生活に大きな影響を与えています。

三隅・益田道路は、一般国道9号のバイパスとして計画された延長約15.2kmの道路で、これらの問題点を解消するとともに、災害等緊急時における代替ルートの確保が図られます。また、第3次医療施設への速達性が確保され、医師不足が深刻な地域の病院間の連携が強化されます。平成22年10月に都市計画決定され、平成24年度から測量、地質調査に着手しています。

平成25年度は、早期工事着手に向け、地質調査、道路予備設計及び橋梁予備設計等を行います。

事業箇所図



作業写真



測量調査状況



路線標識設置状況



地質調査状況

事業概要

事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間において、交通事故対策の推進および安全で快適な歩行空間の構築を目指し、主に通学路に指定されているが歩道が未設置もしくは歩道が狭い箇所を重点的に歩道等の整備を行う交通安全事業を進めています。

平成25年度は、江津市江津、浜田市江津、浜田市木部町大浜、益田市横田町、益田市乙吉町、益田市栄町、益田市安富町の計7箇所において、調査設計及び用地買収・工事を推進し、その内1箇所(益田市横田町)の完成を予定しています。

事業箇所図



益田市横田町



益田市乙吉町



浜田市熱田町

港 灣 閔 係 事 業

予算総括表

[単位:百万円]

事業別	港名	平成24年度事業費 (当初)	平成25年度事業費 (当初)	対前年度比	備考
港湾	浜田港	1,000	1,000	1.00	臨港道路の整備 防波堤(新北)の整備

※事業費はいずれも年度当初予算額であり、業務取扱費を含まず

【浜田港臨港道路整備事業】（事業推進）

H25: 400 百万円

事業概要

浜田港福井地区は、国際コンテナ貨物や、石炭、原木等を扱う主要埠頭であるが、既存の臨港道路福井1号線は、混雑の激しい幹線国道に接続していることから、渋滞にともなう輸送コストの負担増を強いています。加えて、将来増加が見込まれる貨物量に鑑みると、既設臨港道路の交通容量不足が深刻化し、利用企業の競争力の低下等が懸念されています。

このため、浜田港周辺で整備が進められている山陰道等の道路ネットワークと連携し、更なる増加が見込まれる貨物を、安全かつ効率的に輸送するため、臨港道路福井4号線の整備を推進します。平成25年度は、現地工事着手に向けた調査・設計、橋梁下部工等を実施します。

期待される整備効果

本事業により、山陰道等の高速道路ネットワークの効果を最大限に活用することが可能となり、輸送コストの削減、各種製造業の国際競争力強化を通じ、日本の経済社会の発展、雇用の確保等に寄与します。

また、大規模地震発生時には、背後圏の経済活動をできる限り早期に回復することに寄与します。



【供用中】
国内物流ターミナル
(水深14m、1.3m[所蔵])

【供用中】
国内物流ターミナル
(水深7.5m、5.5m)

浜田港福井地区

至 森田方面

至 広島・山陰方面

至 益田方面
(西村IC(仮)経由)

【浜田港防波堤整備事業】（事業推進）

H25:600 百万円

事業概要

浜田港は、島根県西部に位置し、セメント、原木、完成自動車（中古車）等を取扱う物流拠点として、地域の産業活動を支える重要な役割を果たしていますが、冬期風浪等の影響により、国際物流ターミナルでの安全かつ効率的な荷役作業に支障が生じています。

このため、福井地区において防波堤の整備を推進しています。平成25年度は、ケーソン据付等を実施します。

期待される整備効果

本事業により、港内の静穏度が向上し、年間を通じて安全かつ効率的な荷役作業が行えるようになるとともに、避難水域の確保等、航行船舶の安全性向上に寄与します。

